

得意先喪失補償額算定書

(1)製造業

業種分類No.		業種内容:			法人・個人	
資本金	千円	年間売上高	千円	売上減少率	%	全従業員数 名

区分	勘定科目	金額	科目の内容	備考	
【A】売上高	① 売上高				
	② △売上値引等				
	③ 雑収入			収益認定の際に計上できるもの	
	計				
【B】製品売上原価	(a) 材料費	① 期首材料棚卸高			
		② 材料仕入高			
		③ △期末材料棚卸高			
	計				
	(b) 人件費	① 雑給			臨時雇用の賃金・給与
		計			
	(c) 経費	① 特許権利使用料			
		② 外注加工費			
		③ 動力・光熱費			
		④ 運搬費			外注運賃・自社車両費(燃料・修繕費を含む。)
		⑤ 消耗品費			消耗工具・器具を含む。
	計				
	変動費合計((a)+(b)+(c))				
	(d) 総製造費用				
(e) 製品売上原価					
【C】商品売上原価	① 期首商品棚卸高				
	② 商品仕入高				
	③ △仕入割引等				
	④ △期末商品棚卸高				
計					
【D】販売費・一般管理費	① 容器包装費			荷造材料費を含む。	
	② 発送配達費			荷造運搬費、車両燃料費、修繕費を含む。	
	③ 販売促進費			販売手数料、見本費を含む。	
	④ 雑給			臨時雇用の賃金・給与	
	⑤ 外注費				
計					

(1) 製品売上原価

① 製造原価の中の総製造費用(材料費、人件費、経費)を固定費と変動費に分解する。

$$\frac{\text{変動費}}{\text{総製造費用}} = \frac{\text{---}}{\text{---}} = \boxed{\text{【E】}} \quad \text{\% (変動比率)}$$

(小数点以下第4位切り捨て)

(注) 総製造費用 = 材料費 + 人件費 + 経費

② 製品売上原価の中の変動費

$$\begin{aligned} \text{変動費} &= \text{製品売上原価} \times \text{変動率} \\ &= (e) \times \boxed{\text{【E】}} = \boxed{\text{【F】}} \quad \text{円} \end{aligned}$$

(注) 製品売上原価 = 期首製品棚卸高 + 当期製品製造原価 - 期末製品棚卸高

(2) 商品売上原価

$$\text{変動費} = \text{商品売上原価} = \boxed{\text{【C】}} \quad \text{円}$$

(3) 販売費・一般管理費及び営業外費用の中から変動率を抽出する。

$$\text{変動費} = \boxed{\text{【D】}} \quad \text{円}$$

(4) 限界利益率

$$\begin{aligned} \frac{\text{売上高} - \text{変動費}}{\text{売上高}} &= \frac{\text{【A】} - \{\text{【F】} + \text{【C】} + \text{【D】}\}}{\text{【A】}} \\ &= \frac{\text{---}}{\text{---}} = \boxed{\text{限界利益率}} \quad \text{\%} \end{aligned}$$

(小数点以下第4位切り捨て)

(5) 一時的に得意を喪失することによって通常生ずる損失額

従前1か月の売上高 × 売上減少率 × 限界利益率

(1円未満切り捨て)

$$= \boxed{\text{補償額}} \quad \text{円} \quad (1円未満切り捨て)$$